

私の留学生活も、3ヶ月目に突入してきました。言葉が理解できなかったり伝わらなかったり、大変なこともあります。今のところまだホームシックにはなっていません。学校や家族など、少しずつ順調に馴染んできていると感じています。

さて私は、エスペランサという隣町にあるラグビーチームに所属しており、毎週月曜日、水曜日、金曜日の20時30分から22時まで練習があります。日本の部活動に比べると、週3日というのは少し物足りなくも感じますが、練習がない日は自主練をして、体力的にも丁度良いと感じています。しかし5月に入り、何故か理由はわかりませんが、チームの練習でとてもrunメニュー、コンタクトメニューが増えたと感じています。自宅にもボールを持っていないため、もう少しボールに触りたい、走るの嫌だ、という気持ちがありますが、それでも屈せず日々練習に励んでいます。

5月9日、この日は初めて、15歳の誕生日パーティーに行きました。アルゼンチンでは、15歳の誕生日だけ、ものすごく盛大に祝われます。ちなみに誰の誕生日だったのかは知りません。友達の友達の親戚の...よくわかりませんがたとえ関わりがなくても、とりあえずお金を払えば参加できます。しかし年齢に制限があり、家族や親戚以外で参加するには、14~17歳程度と、15歳に近くないと参加できないそうです。DJがいたり、パーティーの最後にムービーが流れたり、日本の誕生日とは違いすぎて、なんと表せば良いのかわかりませんが、クラブみたいな感じです。ちなみにこの日は数百人くらいでしょうか、たくさんの方が参加していました。私達が行く前に、親戚のみでディナーをし、その後たくさんの方がやってくるという感じです。またご存知の通りアルゼンチンはとても夜型の国なので、食事後パーティーが始まるのは、夜中の1時半2時くらいで、終わるのは6時くらいです。基本的に全てのパーティーがその時間です。この日は、パーティー後友人たちみんなでパン屋に行き、パンを買って食べながら歩いて帰宅しました。風呂キャンしたくなりますが、私はまだしたことありません。

また別の日、母に日本食を教えてほしいと言われ、母とフルーツサンドを作りました。私はこのとき初めて知ったのですが、フルーツサンドは日本発祥なようで、ブラザーや友人は、「甘いサンドウィッチ」というものにとても驚いていました。どうせなら分厚いのが良いなと思い、パイナップルとキウイの2種類を作りました。美味しかったです。やはり人によって好き嫌いはあるなあと思いました。

5月25日は、革命記念日といい、とても大切な国の祝日のようで、学校がありませんでした。その代わりに、22日の金曜日、学校でお祝いが行われ、歌を歌ったり、アルゼンチンの歴史を改めて学んだり、各クラスでダンスを披露したりしました。私は2週間ほど練習をし、「chacarera」を踊りました。今までダンスに触れてこなかった私にとってはとても難しかったです。そして、アルゼンチンのみんなは、そういったダンスや歌、お祝いが大好きです。「chacarera」は男女のペアで踊るアルゼンチンの伝統的な踊りで、女性はふんわりとしたロングスカートまたはワンピースで髪は三つ編み、男性はBombacha de campoと呼ばれるズボンにブーツや革靴などを履きます。「chacarera」の他にも「Chamamé」「Zamba」「Malambo」など様々な種類があり、まとめて「folklore」と呼ぶそうです。

27日、日本で言う体育祭がありました。フォルナーダと呼ばれており、ハンドボールやサッカー、ドッジボール、バレーボール、リレー、テホなどの競技と、各クラスごとにプレゼ

ンテーションを行います。今年はサッカーワールドカップがあることから、プレゼンのテーマは今までのサッカーワールドカップの国で、私のクラスは**2002**年の日韓ワールドカップを担当しました。クラスカラーは紫です。この日のために私たちは、1ヶ月ほど前からプレゼンの内容を決めたり、マスコットの着ぐるみを作ったり、早めに準備を始めた、はずなのですが、完成したのは前日の夜でした。効率があまり良くないところもアルゼンチンっぽいなあと感じました。プレゼンは簡単に言うと、私が浴衣を着て神輿のような形のものに乗って、日韓ワールドカップのマスコットと二人の甲冑のようなものを着た武士役の男の子と登場し、日本語でクラス説明をしその後男の子がスペイン語で翻訳する。という感じでした。**5**分もない短いプレゼンでしたが、全体的にバタバタしていましたが、見事盛り上がり本当に良かったです。また私は、リレー、バレー、ハンドボール、ドッジボールに参加しました。ハンドボールは女の子だけで、ほかは男女混合でした。結果は、ハンドボール**0**勝**2**敗、バレー優勝、リレーとドッジボールはよくわかりませんでした。このとき初めてアルゼンチンでリレーをしたのですが、日本とは大きく違って、**25**メートルほどの真っ直ぐの道を**4**人が行ったり来たりする感じで、びっくりしました。でもそっちのほうが観客からしたらみやすいなあとも思いました。











